



2023年11月14日
株式会社イクシス

防災・安全管理用 AI 検知システム「GENBA-Monitor AI 検知」が 国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」に登録

株式会社イクシス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役 Co-CEO：山崎文敬、狩野高志）は、当社の防災・安全管理用 AI 検知システム「GENBA-Monitor AI 検知」（以下、「本サービス」という）が国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS（New Technology Information System）」に登録されたことをお知らせします。

■ NETIS とは

国土交通省が新技术の活用のため、新技术に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムです。NETIS 登録技術は、工事の効率化を進めるために政府が利用を推進しているもので、公共工事の施工者が登録された新技术の活用を提案し実際に工事で活用された場合には、効果に応じて工事成績評定の加点の対象となります。

【NETIS 登録情報】

- ・ NETIS 番号：HR-230009-A
- ・ 新技术名称：防災・安全管理用 AI 検知システム「GENBA-Monitor AI 検知」
- ・ NETIS 内本サービス登録ページ：

<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-230009%20>

■ 本サービスの概要 ～高性能 IoT カメラの画像から防災や安全管理を支援～

当社の画像解析 AI 技術と高性能カメラである GENBA-Monitor（IoT ネットワークカメラ）を組み合わせることで、撮影した画像から監視対象物体の変位・消失を AI が検知します。変位・消失を検知した場合はアラートメールが送信され、解析結果を閲覧することができます。DX 時代の防災関連・安全管理を支援するシステムです。

本サービスの詳細は下記サイトをご覧ください。

<https://www.ixs.co.jp/genba-monitor/>



■ 本サービスの特徴

- ・屋外対応：光や天候の影響を軽減し屋外で使用可能
- ・夜間対応：赤外線カメラで夜間でも AI が検知可能
- ・誤検知防止：連続検知のみを通知することで遮蔽物による誤検知防止
- ・複数監視：1 台の IoT カメラで最大 3 箇所まで同時監視可能
- ・通知機能：監視対象物体の変位を AI が検知し、アラートメール送信
- ・閲覧機能：解析結果（検知結果）をクラウドで閲覧可能

■ 本サービスの活用現場

防災関連

- ・斜面の監視（崖の落石・法面崩落検知）
- ・河川・道路の監視（増水・冠水検知）

防災関連



斜面の監視（崖の落石・法面崩壊検知）

河川・道路の監視（増水・冠水検知）

安全管理

- ・安全用具（コーン・バリケード等）の移動検知
- ・万能塀・フェンス・看板の倒れ検知

安全管理



安全用具（コーン・バリケード等）の移動検知

万能塀・フェンス・看板の倒れ検知

■ 本サービスの効果

- ・従来の監視員の目視から、IoT カメラによる AI 検知という手法に変えたことで、監視員の災害リスクを回避でき、安全性の向上が図れる。
- ・災害時には、特別な器具の設置作業をすることなく IoT カメラで監視対象物の初期位置設定を代用できるため、設置作業における災害リスクを回避できる。
- ・異変を検知した際、メール送信により通知することでリアルタイムでの報告が可能。



■株式会社イクシスの概要

イクシスは「ロボット×テクノロジーで社会を守る」をミッションとし、ロボットを利用したデータ取得・AI解析・3次元データ連携等、インフラ関連業界におけるDXを支援、そして社会課題の解決への貢献を目指しています。

設立	1998年6月
所在地	神奈川県川崎市幸区新川崎7-7 AIRBIC内
代表者	Co-CEO兼CTO 山崎 文敬、 Co-CEO 狩野 高志
事業内容	社会・産業インフラ向けロボットソリューション AI・XR・3Dデータソリューション
HP URL	https://www.ixs.co.jp/

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社イクシス

神奈川県川崎市幸区新川崎7-7 かわさき新産業創造センター（AIRBIC）内

Business Development Division

電話：044-589-1500、メールアドレス：press@ixs.co.jp